

環境学習プログラムの開発と実践報告

～五感を使って楽しんで、調査して、考えて、行動する～

特定非営利活動法人
センスオブアース
市民による自然共生パンゲア



報告の流れ

- 1) はじめに ～センスオブアースとは～
- 2) 環境教育 活動の概要
- 3) 環境教育 実践事例
 - a. たからさがしゲーム（保育園）
 - b. 学校の木を決めよう（小学校）
 - c. 食べ物はどこから（中学校）
- 4) 環境教育 成果と課題
- 5) 終わりに ～これからの歩み～



はじめに ～センスオブアースとは～

特定非営利活動法人
センスオブアース
市民による自然共生パンゲア



センスオブアースの活動の広がり

- ◆環境教育の展開（プログラム開発・出張授業など）
- ◆エコツアーの開催
- ◆自然観察会・環境講座の開催
- ◆環境整備活動の展開（ビオトープ・区民農園など）
- ◆イベントへの参加・出展
- ◆情報発信活動（ニュースレター・HPなど）



センスオブアースの転機

2004年

学校ビオトープでつながった元教員・保護者と活動への賛同者が集い、センスオブアースが結成される。

2007年

大学生との協働が始まる。主要な活動がプログラムの開発、出張授業の展開へと活動が移行する。



環境教育 活動の概要



プログラム開発と出張授業

プログラム開発

- 講習会
- ワークショップ
- 教材開発
- 授業紹介資料の作成
など

広報活動



出張授業

- 授業実践
- アンケート回収
など



フィードバック

(保育園・小中学校へ)



授業紹介資料について

SoEの

環境教育

feel think act

～そしていのちを学ぶ～

収録プログラム

◆ 自然生態系分野 (自然・アメニティ分野・みどり) 6プログラム

	小 学 校						中 学 校			主な関連単元
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
季節の自然で遊ぼう	■	■	■	■	■	■				自然1年「らさみのなまよし」2年「さきものなまよし大観」
好きな色はどこにある	■	■	■	■	■	■				自然2年「さきものなまよし大観」
そっこのぞいてみてみよう	■	■	■	■	■	■				理科3年「人間観察〜ようは4年〜」(4年「なごき」)
学校の木を決めよう	■	■	■	■	■	■				理科4年「樹の観察と成長 花から実へ」
わたしの木、ほくの木	■	■	■	■	■	■				理科5年「樹の観察と成長 花から実へ」6年「人と環境」
やご救出プログラム	■	■	■	■	■	■				自然2年「さきものなまよし大観」3年「人間観察〜ようは4年〜」

◆ 食文化と環境分野 (循環型社会分野・食) 5プログラム

	小 学 校						中 学 校			主な関連単元
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
学校産のとうふを作ろう	■	■	■	■	■	■				国語3年「大豆の収穫」/社会5年「わたしたちの生活と食料性産」
手前みそを作ろう	■	■	■	■	■	■				国語3年「大豆の収穫」/社会5年「わたしたちの生活と食料性産」
食べ物はどこから	■	■	■	■	■	■				社会5年「わたしたちの生活と食料性産」
旬の野菜を調べよう	■	■	■	■	■	■				社会5年「わたしたちの生活と食料性産」
ペットボトルの水	■	■	■	■	■	■				理科6年「水(水)の循環」

■ プログラム実施推奨学年 ■ プログラム実施可能学年

2011年10月改訂版

掲載プログラム 各教材・未来への架け合い / 学習指導要領目標とのつ

● 季節の自然で遊ぼう

● 好きな色はどこにある

● そっこのぞいてみてみよう

● 学校の木を決めよう

● わたしの木、ほくの木

● やご救出プログラム

● 学校産のとうふを作ろう

● 手前みそを作ろう

● 食べ物はどこから

● 旬の野菜を調べよう

● ペットボトルの水

● 環境教育プログラム 出版販売 申し込み・問い合わせ先

環境教育推進法人 センズオブアース 市民による自然共生パンゲア

理事長：寺田 茂

〒174-0052 東京都小平市 1-6-5

自然生態系分野 (自然・アメニティ分野 - みどり)

季節の自然で遊ぼう

形探しを通じて、身近な季節の表情に触れよう。

自然におにごっこ「コウモリとガ」で身体を動かした後は、学校にある自然を用いた季節探しの始まりです。「フィールドパターン」で自然の中の形に目を向けることで、その見え方や自然に関する気づきやより豊かなものになります。豊かな感性は季節の移り変わりによる小さな変化を感じていきます。子どもたちひとりひとりの発見はネイチャーゲームリーダーの資格を持つSoEのスタッフがその場で受けとめ、深めていきます。興味・関心の高まり、一生懸命探す目の輝きは、このプログラム最大の魅力です。

授業時間 約90分(2時間)

授業場所 校庭等

対象学年 1年生～4年生

関連教科 理科・道徳・特別活動



好きな色はどこにある

友達との分ち合い、自然の中の色探し。

校庭の落ち葉を拾い、「大きな葉っぱ」「や」穴の多い葉っぱ」などのテーマで友達と集って観察し「落ち葉くらべこじゃんけん」遊びながら葉っぱの色の違いに目を向けたり、それぞれの葉っぱの特徴を見つけたりします。集った色をカードに出発です。手には、グループの子どもたちの色が入った色が集まったオリジナルの色さがしカード。自分の好きな色を校庭の自然の中から見つけたときの感動、その色のよさを友達と分ち合えたことの喜びは、プログラムの醍醐味です。

授業時間 約90分(2時間)

授業場所 校庭等

対象学年 2年生～5年生

関連教科 理科・道徳・図工・総合



特定非営利活動法人
センズオブアース
市民による自然共生パンゲア



主な授業プログラムの内容

- 自然生態系分野（自然・アメニティ）
 - ✓ ネイチャーゲームを中心として、五感を研ぎ澄ますことのできるプログラム。
- 食文化と環境分野（循環型社会）
 - ✓ 日本伝統の食品作りに接することのできるプログラム。
 - ✓ 食品と地球温暖化などとの意外なつながりに気づくことのできるプログラム。



環境教育 実践事例



事例1 たからさがしゲーム

(自然生態系分野・保育園)

たからさがしカードを持って公園へ。
触って嗅いで、自然の不思議を発見しよう！！



特定非営利活動法人
センスオブアース
市民による自然共生パンゲア



事例1 たからさがしゲーム

(自然生態系分野・保育園)

園長先生からの感想

4・5歳児の子どもたちとネイチャーゲームに参加して・・・

私が幼少時だった昭和40年代前半は、まだまだ自然を感じ生活することができました。木造だった家からは風で雨戸がガタガタなったり、雨が降っていると「ポタ・・・ピタ・・・」と地面に雨粒が落ちて奏でる音が、家の中からも気配として感じる事ができたのです。楽しかったいろいろな体験は、今でも私の心に強く残っています。

今回子どもたちと少しの時間でしたが自然に触れ自分の五感を研ぎ澄ました時を持つことができ、本当に良かったと思います。と同時に、今の子どもたちにもこんな時間を持たせてあげたいと思いました。子どもはとても感性豊か・・・その感性の芽をできるだけ伸ばす保育を私たち保育者は常に考えていきたいものです。

小桜保育園長 大澤 ゆかり

指導者・スタッフの学びや気づき・自由感想

意識しないと忘れがちな事に気づかされました。大人にとっ
て当たり前な事も子どもにとっては驚きや発見である事が確認
できました。4歳児クラス(年中児)には、話し理解度が
充分でなかった部分もあったが5歳児の状況を見て同様



事例 2 学校の木を決めよう

(自然生態系分野・小学校)

グループで見つけて紹介しよう。
自分たちの学校の、自分たちのお気に入りの木を。



事例2 学校の木を決めよう

(自然生態系分野・小学校)

授業を受けた 小学生の感想

ビンゴゲームのにおい☆
のする葉のクスノキは♡
とてもいいにおいでし♡
たきずがある木は♡
とてもふしぎに思いました♡
そよそよ音がした木は☆
心があちぎりました♡

1. 木のフィールドビンゴをやってみて、どんなことに気がつきましたか。

たとえば(はっぱの形はどんな形？枝はどんなかっこうかな。みきはどんなもようだった？どのくらいのふとさだった？木の高さはどれくらい？どんな花がさくのかな。コケなどついていたかな。木にいたいきものみつけたかな？いいにおいのはあった？どんなにおい)

木にもいのちがあることがわかった。

木にもコケがあることがわかった。

はっぱにもにおいがついてることをわかった。



事例3 食べ物はどこから

(食文化と環境分野・小中学校)

食べ物の選び方で変わる。
環境への負荷 – フードマイレージ について考えよう。



事例3 食べ物はどこから

(食文化と環境分野・小中学校)

授業を受けた 中学生の感想

センスオブアースの先生方へ

今回、フードマイルージの事を教えていただき
ありがとうございました。私はこの授業を受ける
まで、国産だとか外国産だとか考えていなか
たし、安かったら何でも良いと思っていました。でも、
日本の食料自給率がとても低いと知って少し
値だんが高くて買ってみようかなと思いました。

アンケートの集計結果 (一部抜粋)

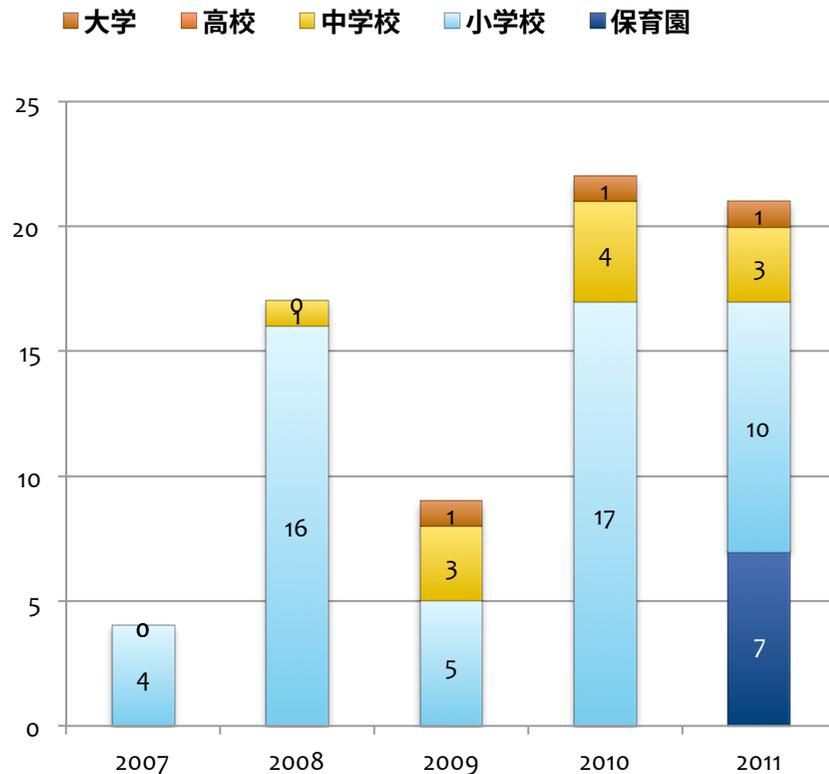
- たべものを運ぶのに、エネルギーがかかっていることを考えたことはなかった。 79.1%
- 食べものがどこからきているか、知らないものがかなりあった。 88.8%



環境教育 成果と課題



出張授業の広がり



※ 2011年度は12月までの授業数です。

12月11日現在、
13の環境教育プログラムを、
26の保育園・小中学校・大学で、
73回の授業を実施してきました。

2010年度は、
環境教育に触れる機会を
1905人の子どもたちに
提供しました。



授業スタッフの充実に向けて

多くの子どもたちの、小さな気付きに寄り添うために・・・

1. 授業スタッフを板橋区民から募集します。
授業時間： 平日（1時間半程度）
参加条件： 一緒に学ぶこと、寄り添うこと
2. サポーター会員（年会費2000円）への登録、
団体への寄付をお願いします。
3. ニュース（月1回発行）の読者を募集します。

近未来の市民への第一歩として、活動へのご参加をお待ちしています。



おわりに～これからの歩み～

特定非営利活動法人
センスオブアース
市民による自然共生パンゲア

